

# 米国投資適格社債市場のBBB格比率上昇は恐るるに足らず

**BBB格が社債に占める比率が上昇しているからといって、クレジット市場がバブルの状態にあるというわけではありません。**

## ●投資適格社債市場の半分以上がBBB格に

順調に成長を続けてきた米国の投資適格社債市場ですが、2008年末時点で3分の1に過ぎなかったBBB格の比率は、2018年末以降、50%を上回っています（下図表ご参照）。**半分以上がBBB格という状況について、投資適格社債におけるクレジットの劣化を懸念する声もあります。**

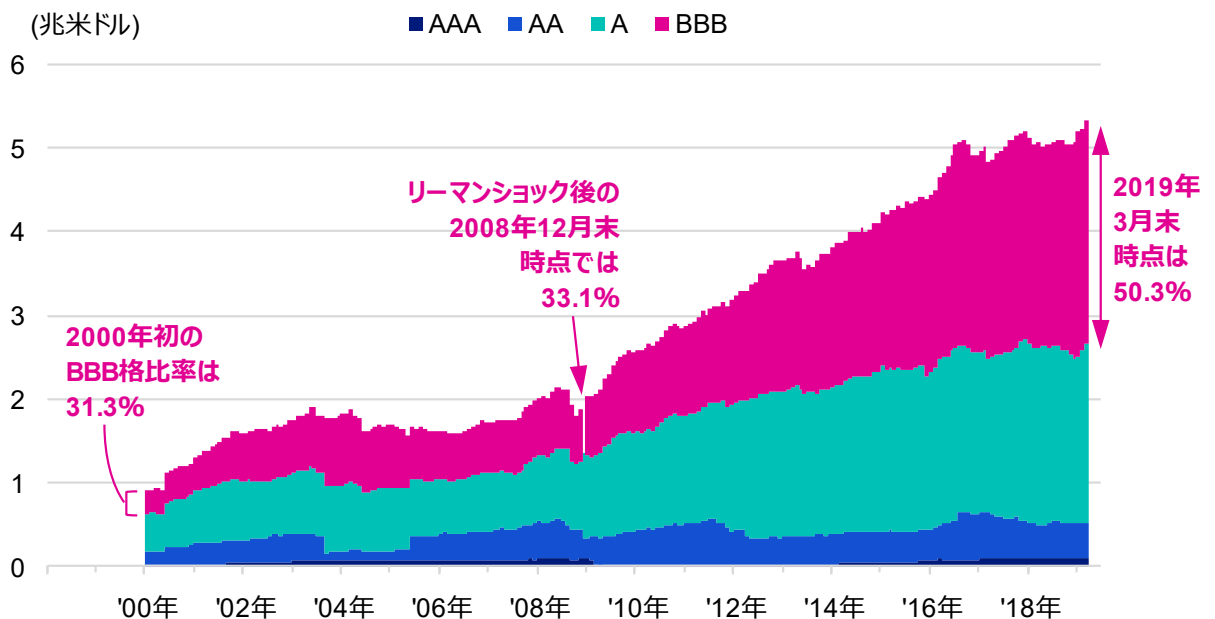
## ●しかし、心配には及ばず

インベスコ・グループで債券運用を担当するインベスコ・フィクスト・インカム（IFI）のリーサー担当者は、状況を楽観的にとらえています。確かに、米国における過去10年間の企業行動は、財務の健全性よりも成長性や株主還元を重視する傾向にありましたが、**2018年以降は、クレジット・スプレッド拡大などの環境変化を受け、債務の削減に取り組み始める企業が増加しています。**

## ●FRBの緩和的金融政策と堅調な景気が企業のフリー・キャッシュフロー創出を支援

加えて、2018年の暮れに一時的に減速感が高まった**米国の景気も、米連邦準備理事会（FRB）の緩和的金融政策スタンスへの転換にも支援され、堅調な推移が続く見込み**です。BBB格の企業の多くは、現在でも債務を返済できるだけの十分なフリー・キャッシュフローを生み出しており、苦境に陥る企業はあくまで個別事情による一握りに限られる見込みです。既に2019年1-3月期は、**BBB格社債が他の投資適格社債をアウトパフォームする状況に転じましたが、そうした状況は2019年を通して続くだろうとIFIでは考えています。**

図表：米国投資適格社債の格付け別時価総額の推移



出所：ブルームバーグ・バークレイズ“US Corporate Investment Grade Index”。  
注：2000年1月～2019年3月の月末値。

### 今回のポイント

**2019年を通して、1-3月期と同じように、BBB格社債が他の投資適格社債をアウトパフォームする展開を見込んでいます。**

### 当資料ご利用上のご注意

本書は情報提供を目的として、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社（以下、「弊社」といいます。）が弊社グループのインベスコ・フィックス・インカム（IFI）作成（以下、「作成チーム」といいます。）の資料における情報を基に作成したものです。本書は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本書に記載された一般的な経済、市場に関する情報およびそれらの見解や予測は、作成チームの資料作成時における見解であり、いかなる金融商品への投資の助言や推奨の提供を意図するものでもなく、また将来の動向を保証あるいは示唆するものではありません。また、当資料に示す見解は、インベスコの他の運用チームの見解と異なる場合があります。本文で詳述した本書の分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。当資料について事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。

#### インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第306号
加入協会	一般社団法人投資信託協会
	一般社団法人日本投資顧問業協会